

平成 26 年
第 2 回町議会定例会

行政報告

(平成26年6月3日)

幕別町長 岡田 和夫

平成26年第2回町議会定例会が開催されるにあたり、当面する町政の執行につきましてご報告をさせていただきます。

(臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金について)

はじめに、臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金について申し上げます。

国は、消費税率の引き上げに際し、所得の低い方や子育て世帯への影響を考慮した暫定的かつ、臨時的な措置として「臨時福祉給付金」と「子育て世帯臨時特例給付金」の給付事業を行うことといたしました。

臨時福祉給付金は、幕別町に住民登録をされていて平成26年度分の町民税が課税されない方で、課税者の被扶養者となっていない方が、子育て世帯臨時特例給付金は、児童手当を受給している方で臨時福祉給付金の支給対象外の方が対象とされております。

また、支給額については、臨時福祉給付金は、対象者1人につき1万円、子育て世帯臨時特例給付金は、対象児童1人につき1万円とされております。

本町においては、町広報紙等で制度の周知を図っているところではありますが、対象者を臨時福祉給付金は約6,000人、子育て世帯臨時特例給付金は約3,100人、合わせて9,100人と見込み、給付金の対象と思われる方に対して、6月下旬に申請書等を送付するよう準備を進めているところであります。

申請期間は6月30日から9月30日までの3か月間とし、受付窓口は町民課、保健福祉センター、札内支所、糠内出張所及びふれあいセンター福寿の5か所で対応する予定といたしております。

(幕別町地域防災計画の修正について)

次に、幕別町地域防災計画の修正について申し上げます。

東日本大震災を契機に、国では官民一体となった防災対策の強化が喫緊の重要課題ととらえ、「災害対策基本法」などの関係法令を改正いたしました。これを受けて、

「防災基本計画」や「北海道地域防災計画」について所要の修正が行われました。

町の「地域防災計画」は、幕別町防災会議において策定することとしておりますことから、国や道の動向を踏まえた上で、昨年12月19日に第1回目の会議を開催し、計画修正の検討を進めてまいりましたが、去る5月28日に開催した第3回目の会議で最終の修正案について協議を行い、決定したところであります。

この度の修正の重要なポイントは、1点目として「災害時の被害を最小化するための減災の概念の導入」、2点目として、「地震・津波対策の抜本的強化」、3点目として、「自助・共助による地域防災力の強化」、4点目として、「幕別町防災対策本部組織の再編」、特に札内地域における組織体制の拡充等であります。

今後、計画の修正内容を反映させた「幕別町防災のしおり」の改訂版を作成して、全戸に配布するとともに、防災対応マニュアルの修正と水防計画の修正に取り組んでまいります。

（札内福祉センター改築基本計画の策定について）

次に、札内福祉センター改築基本計画について申し上げます。

札内福祉センターにつきましては、耐震性能に対する不安や老朽化の問題などから、改築する方向で検討を進めてまいりました。

昨年12月に「札内福祉センターの改築に関する基本的な考え方（案）」をとりまとめ、2月にはこの案に対する考え方などをお聞きするため、施設利用者や一般住民等を対象にアンケート調査を実施いたしました。

アンケート調査の結果などを踏まえ3月には、改築整備方針案を作成し、4月のパブリックコメントを経て、5月8日に改築整備方針を定めたところであります。

今後におきましては、敷地の利用計画や施設機能のあり方などを盛り込んだ改築基本計画を本年度中に策定する予定といたしておりますが、この策定にあたりましては、高度な専門性や企画力を必要といたしますことからプロポーザル方式により、7月中に事業者を選考し、業務を委託することといたしております。

(予約型乗合タクシーについて)

次に、予約型乗合タクシーについて申し上げます。

昨年10月から試験運行を実施してまいりました南幕別地区における予約型乗合タクシーは、本年4月から朝夕各1便を増やし1日4便体制として、9月まで試験運行を延長し運行いたしておりますが、運行率（運行日ベース）は、昨年10月から3月までの平均33.3%から、4月には50.0%に上昇し利用者が増加してまいりました。

今後も高齢化が加速する中、移動手段の確保は、一層重要性を増すものと考え、去る5月16日に開催されました第1回幕別町地域公共交通確保対策協議会において、本年10月から本格運行する旨の決定がなされました。

今後は、協議会において運行事業者に決定されましたエイシン運輸有限会社と町が、運行協定を締結し本格運行となりますことから、本定例会に運行にかかる補助金を予算提案いたしましたところであります。

また、西幕別地区における予約型乗合タクシーにつきましては、本年7月からの試験運行の実施に向け準備を進めてまいりましたが、委託先は指名競争入札により、北斗タクシー有限会社に決定いたしました。

今後は、2つの地区の予約型乗合タクシーの利用促進に向け、広報紙等でお知らせするとともに、地区内の老人クラブなどを対象に出前講座に出向き、多くの方々に利用いただけるよう取り組んでまいりたいと考えております。

(農作物の作況について)

次に、農作物の作況について申し上げます。

この冬は、例年に比べ積雪量が少ない状況にありましたことから、土壌の凍結が深く、春先の農作業の遅れが心配されましたが、4月上旬から晴天に恵まれ、馬鈴薯の植え付けや甜菜の移植作業は、平年よりやや早く始まり順調に終了いたしました。

しかしながら、4月28日の強風に加え、翌29日と30日の遅霜により移植直後の甜菜に影響を及ぼし、その被害面積は、190.2ヘクタールに達しましたが、直播（ちよく

はん) への播き直しを33.0ヘクタール、再定植や補植での対応を148.0ヘクタール、他作物への播き直しを2.5ヘクタールなどの対応がなされたところであります。

5月15日現在の秋まき小麦の生育状況につきましては、2日早い状況であります。牧草においては雨不足により3日の遅れとなっております。

馬鈴薯の植え付けやサイレージ用とうもろこしのは種作業は、5日から6日早い状況にあります。

この先、農作業等の事故も無く、天候に恵まれ、農作物が順調に生育し、稔り豊かな秋が迎えられるよう、心から願っているところであります。

(町営牧場の入牧状況について)

次に、町営牧場の入牧状況について申し上げます。

本年は、忠類地区においては、晩成牧場上段で道営草地整備事業による草地改良が行われますことから、共栄牧場と晩成牧場下段に加えて、十勝農協連に貸し付けておりました中当第2牧場を合わせた3牧場を使用して預託を行うことといたしました。

入牧は、忠類地区では、5月28日と29日に3牧場合わせて乳牛264頭が、また、南勢牧場では、5月23日に乳牛226頭、肉用雌牛14頭が、町営牧場全体では504頭（前年同期619頭）が入牧を済ませたところであります。

今後、さらに381頭の入牧が予定されており、飼育にあたりましては、事故などが起きないように、職員の安全管理に対する意識を徹底させ、入牧牛の管理に万全を期してまいりたいと考えております。

(チャレンジデー2014について)

次に、チャレンジデー2014について申し上げます。

昨年交流を再開いたしました神奈川県開成町からの呼びかけにより、先月28日に本町として初めて参加いたしました「チャレンジデー2014」につきましては、短い周知期間ではありましたが、8,118人と多くの方の参加をいただき終了いたしました。

た。

当日の参加率は、本町（人口27,688人）の29.3%に対し、開成町（人口16,606人）は、参加者数10,226人、61.6%であり、大きく水をあげられる結果となりました。

対戦に敗れましたことから、チャレンジデーのルールに則り、本庁舎屋上の掲揚塔に開成町の町旗を翌29日から6月4日までの一週間掲揚いたしているところであります。

4月下旬に「幕別町チャレンジデー実行委員会」を立ち上げ、実行委員を中心に積極的にPRしていただき、町内の体育団体や福祉団体をはじめ、事業所などのみなさんのご協力のもと、8千人を超える多くの方々が参加くださいましたことに対し感謝とお礼を申し上げます。

こうした取組を継続していくことによりまして、健康づくりやスポーツに親しむ機運が、なお一層盛り上がることを期待いたしております。

（消防広域化について）

最後に、消防広域化について申し上げます。

昨年12月下旬から本年1月にかけて実施されましたパブリックコメントを経て、「十勝圏広域消防運営計画」が、本年3月28日に策定されたことを踏まえまして、消防広域化の運用開始に向けた今後のスケジュールについてご報告させていただきます。

本年度、広域化によります新たな事務組合の設立に向け、組合格約案の作成に着手し、署長会議をはじめ、担当課長会議、副市町村長会議、市町村長会議において、規約案について確認を行い、12月議会において、組合格約の提案を予定いたしております。

管内19市町村の議会の議決が整いましたら、新たな広域消防組合の設置について、北海道に許可申請を行い、知事からの許可を来年2月頃と見込んでおります。

これを受け、来年の5月あるいは6月に広域消防準備室を設置し、28年4月の運用

開始に向けて各種事務の統一などの準備を進める予定といたしております。

また、「消防救急デジタル無線」につきましては、第一次整備として進めております共通波に係る緊急事業分の整備は、帯広市において工事契約を終え、今後、工事に着手し、鉄塔などの整備を行い、本年中に完了する見込みであります。

以上、当面する諸問題等につきまして、ご報告をさせていただきましたが、議員の皆様には、引き続き町政の執行に対しまして、一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。行政報告とさせていただきます。